

現 場
代 理 人
レ ポ ー ト

東条川二期農業水利事業

船木池堤体他改修建設工事

東条川二期地区は、兵庫県播磨地域の北東部に位置し、三木市、小野市及び加東市の3市にまたがる約3,400haの水田地帯です。雨が少なく温和な気候の瀬戸内気候区に属しており、年平均気温は14.7℃、年平均降水量は1,254mmとなっています。

本事業では、老朽化が進行している施設の改修と併せて、水需要に対応した用水系統の見直しを行い、これと一体的に、必要な耐震性を有していない施設の耐震化のための整備を行うことにより、農業用水の安定供給、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び国土資源の保全を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資することを目的としています。

本工事の対象である船木池は、1959年（昭和34年）に竣工しているアースフィルダムで堤高31.0m、堤頂長334.0m、総貯水量926,000m³と65年に亘り地域の農業経営等の安定に資しています。本工事は、船木池堤体の上下流側に押え盛土約20,000m³を施工するとともに、貯水池内の取水塔（H=23.9m）及び管理橋等の耐震補強、導水路等の損傷している施設の改修を行う工事です。

本貯水池は上水道との共有施設であり、事前に落水することができず、工事を進めながらの設計照査を行うなど非常に難易度の高い工事ですが、関係者一丸となり、昨年のかんがい期中に無事に導水路改修工を完了することができました。まだ2年の工期を残していますが、各年度の営農に支障をきたすことが無いように、監督員様のご指導の下、現場関係者と力を合わせて無事故無災害での完工を目指してまいります。



監督職員からのエール

本工事は、国営東条川農業水利事業（昭和22年度～39年度）で造成された船木池堤体の耐震化対策及び付帯施設の老朽化対策を実施するものです。

現場は、地すべり防止区域に近接しており、また狭小な市道と工事用道路が錯綜するなど制約条件が厳しい中、接触事故や施工時の重機災害を防止し、さらに天災時の緊急対応に備え、安全な作業環境を確保した施工計画で進められています。このような現場条件の中、監理技術者の兼子所長には、現場で発生するさまざまな課題に対して、迅速かつ最善の方法を計画・実施していただき、円滑に工事が進められています。また、本地区の工事安全管理対策協議会の会長として、他工事の安全管理指導にも尽力されており、大変感謝しています。

最後まで安全第一で、品質と工期を両立させる姿勢を期待しています。引き続き、無事故・無災害で工事完成が迎えられるよう、よろしくお願いいたします。

現場代理人

(写真右) RN建設株式会社

大阪支店土木部 船木作業所長 兼子 隆明

監督職員

(写真左) 近畿農政局 東条川二期農業水利事業所

工事第一課長 久保田 明

